山口県教育会現職研修奨励事業助成

令和３年度　学校研修概要

特色ある体験活動を活かした豊かな人間性と社会性を育む教育

山口県立高森みどり中学校

はじめに

本校は、平成１５年度に山口県下初の併設型中高一貫校としてスタートし、生徒一人ひとりに確かな学力を身につけさせ、豊かな人間性と社会性を育む教育を推進してきた。そして、教育スローガンを「夢　努力　志～グローバルプレイヤーをめざして～」とし、「国際感覚、広い視野、コミュニケーション能力などを兼ね備えた、国際社会や地域に貢献できる人材づくり」をめざしている。そのような教育を推し進めていくため、以下の５つのプロジェクトに取り組んでいる。

１　教科・科目の学習に力を入れる。
２　多様な交流を通して、豊かな人間性と社会性を育てる。
３　キャリア教育の推進によって夢の実現を応援する。
４　体験活動や部活動を通して、健やかでたくましい心身を育てる
５　授業や相談活動の充実に努め、魅力的な教育を展開する

本レポートにおいては、プロジェクト２および４についての主な取組について述べることとする。

１　多様な交流を通して、豊かな人間性と社会性を育てる。

本校の教育スローガンにも掲げているとおり、国際感覚を身につけたグローバルプレーヤーとなるためには、英語力の育成は欠かせない。そのため、本校では通常の英語の授業に加えて各学年ともに集中的に英語に取り組む「英語セミナー」を実施している。

(1) 時間と時空を超えた交流プログラム～やまぐちスマートスクール構想

【タブレットをつかい交流】

本年度、山口県教育委員会では、タブレット端末を活用し海外との交流を通した新しい学びを実施した。それが、「時間と時空を超えた交流プログラム」である。コロナ禍が続くなか、海外の方々との交流が厳しい現状にあって、このプログラムはまさに「渡りに舟」の取組であった。10 月 20 日にオリエンテーションが行われ、10 月 27 日、11 月 4 日に本校３年生の生徒全員が自分のタブレット端末をつかいフィリピンの現地の方々と交流し、お互いの文化について英語で伝え合ったのである。

(2)県国際交流員との交流

また、11 月 25 日にはアメリカ、スペイン、ロシアからそれぞれ来日し活躍中の山口県国際交流員を招聘し交流活動に取り組んだ。３人の方からそれぞれの国の文化についての講話のあと、３年生が日本の様々な文化について、英語をつかいパワーポイントによるプレゼンテーションに挑戦した。このような取組を通して、生徒は確実に英語力を高めている。

２　野外体験活動を通して、健やかでたくましい心身を育てる

本校の大きな特色のひとつに野外活動を通じた仲間づくりがあげられる。「フレンドシップセミナー」という名称で中学２年生が取り組んだ。２泊３日の日程で「十種ヶ峰青少年自然の家」において様々な課題に取り組むのである。山口県独自の野外活動プログラムであるAFPYの活動を基本としながら「ローエレメント」「ハイエレメント」に挑戦することを通して、仲間を信じる気持ちや助け合う態度を育成していく。また、十種ヶ峰登山では、全員が山頂に到達し、大きな達成感を味わうとともに仲間の大切さをいっそう感じることとなった。

【様々な野外活動に取り組む生徒たち】

本校の生徒は広範囲から入学してくるため、小学校時代からのつきあいはほとんどない。また、学校以外の場面で日常的につきあうことも少ない。そのため、意図的・計画的な人間関係づくりが重要となってくる。そこで、このような体験的な活動は仲間とよりよい関係をつくっていくことうえで大きな意味をもつのである。

３　考　察

昨年度に引き続き、本年度もコロナ禍のため、多くの行事を中止または縮小しなければならない状態が続いている。本来であれば、もっと楽しくもっと充実した学校生活を送ることができるところが残念で仕方がない。そのような中でできることを最大限に取り組んだ一端が本レポートで紹介した取組である。英語セミナーや野外活動の取組を通して、生徒たちは学力も人間性も確実に伸ばしていると実感している。今後も新型コロナウイルス感染症については厳しい状況が続くと予想できるが、本校の特色ある教育を精一杯推進していきたい。